

## 第 6 次上尾市総合計画後期基本計画（案） 市民コメントの意見要旨と市の考え方 一覧表

◎意見募集期間 令和 7 年 9 月 4 日～令和 7 年 1 0 月 3 日

◎応募意見状況 応募者数 2 名 意見数 4 件

No.	ページ	項目	ご意見要旨	市の考え方
1	P58, P85	施策2-1 健康  施策6-1 住環境	<p>私の家の近くに水神公園という小さな公園があります。上尾市によくある古い公園ですが、面積の割に樹木が多く暗く感じます。また周辺も植え込みに囲まれ中が見えづらく防犯上の問題もあるかと思ひます。また遊具も少なく小さな子が遊ぶこともできません。</p> <p>そこで北側と南側、の樹木と中央のケヤキ、植え込みを伐採し、明るい雰囲気にしてほしい。そして施策 5 にもかかわるが、バスケットのゴールなどスポーツを簡単に楽しめる器具を設置し、さらに小さな子も遊べる遊具、保護者や高齢者等がゆっくりできるベンチなどを機能的に配置する。現状ではほとんどの人がいないが、近隣の人々が集える公園にしてほしい。</p> <p>（季節の花が咲き誇る公園、身体を動かせる公園、幼児を安心して遊ばされる公園、人々が集える）</p> <p>老朽化した公園を上記のような公園にしてほしい</p>	<p>水神公園は、開設から40年以上経過して樹木の高木化、施設の老朽化が進んでいます。令和2年度に策定した「上尾市公園施設維持管理更新計画」においては、第2期の令和9年度から令和13年度に修繕及び更新時期を設定しています。更新の際には、近隣住民を対象としたアンケート調査を実施する等、市民ニーズを反映した施設改修を行ってまいります。</p>
2	P79	施策5-3 交通	<p>北上尾駅を発着する路線バスがなく、またぐるっと君も本数が極めて少ない。現状は駅まで自転車を利用する人が数多くいる。朝晩だけでも北上尾駅周辺を循環する路線を創ってほしい。</p> <p>北上尾駅東側の国道 1 7 号につながる道路の歩道を歩いていると自転車がスピードを落とさずに歩道を通行していて危険を感じる。自転車通行帯が作られているがそこを走っている自転車は極めて少ない。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・歩道を狭め、自転車通行帯を広げる。</li> <li>・歩道の自転車の通行禁止</li> <li>・車道には自転車通行帯を示すポールを立てる</li> <li>・歩道に自転車が入れないようにバリケードを設置</li> <li>・広くなった自転車通行帯に有料で駐輪できるようにする</li> </ul> <p>自転車ルールの啓もう活動をもっと積極的に市内小中高で、生徒だけではなく保護者も対象にして説明会を実施する。自治会などを通じて高齢者を対象とした説明会を実施する。</p>	<p>北上尾駅周辺を運行するバスの運行ルートにつきまして、ご提案いただいた内容や、その他にも利用者アンケートの結果などを参考に、今後検討してまいります。</p> <p>歩道幅員の変更やバリケードの設置など、道路の構造については各種基準等に基づいて整備を行っているため、変更について難しいものと考えております。</p> <p>なお、自転車の通行区分等については、自転車・歩行者の通行空間の快適性向上に向けて、交通管理者である埼玉県公安委員会及び上尾警察署との協議を進めてまいります。</p> <p>また、自転車ルールの啓発活動につきましては、市内小学校での交通安全教室や市内老人ホームでの交通安全講習会を行っているところでございますが、ご提案にありましたような保護者等を対象とした講習等は行っていないため、今後の交通安全普及推進の参考にさせていただきます。</p>

No.	ページ	項目	ご意見要旨	市の考え方
3	P75	施策5-1 防災	<p>《施策2 防災体制の強化》</p> <p>④災害発生後も安心して生活できる体制を確保するため、避難施設の整備や各種物資の備蓄を進めることが求められます</p> <p>【提案】</p> <p>施策に賛同するとともに、「取組の方向」「主な事業・取組」の文章に以下の通り追記（太字・下線）を提案します。</p> <p>追記（案）</p> <p>【取組の方向】</p> <p>●大地震が発生した場合、発災1日後では11,613人が指定避難所に避難すると想定されており、安心・安全に避難生活を送れるよう指定避難所の環境整備や各種物資の備蓄、<b><u>エネルギーの多重化の整備</u></b>を計画的に行います。</p> <p>【主な事業・取組】</p> <p>●学校体育館トイレの洋式化</p> <p>●災害用マンホールトイレの設置</p> <p>●食料や飲料水、生活必需品、各種資機材の指定避難所等への備蓄</p> <p>●太陽光発電や蓄電池、<b><u>停電対応型GHP</u></b>等の整備</p> <p>【理由】</p> <p>過去の災害においても、まずはエネルギーの確保が重要とされています。災害時の防災拠点・防災設備においては機能不全に陥ると、被災者の救援やまちの復旧に支障が出ます。エネルギーの多重化を図ることでライフラインのバックアップ機能を強化し、近年多発する自然災害による大規模停電に直面した際も電力・都市ガス等のエネルギー供給が可能な、より強靱な拠点として整備することが極めて重要です。また、貴市では、すでに停電対応型GHPを学校体育館に導入されており、その重要性をご理解いただいております。</p> <p>（参考）埼玉県地域防災計画 （オ）指定避難所における生活環境の確保 【市町村】第2編-200 ○指定避難所は、避難の長期化に応じた避難所環境の整備に努めるとともに、電源や燃料容量の拡大や多重化（非常用電源の配備、系統電源以外の電源確保、再生可能エネルギーの導入など）を含む停電対策に努める。 【避難所環境整備・電源や燃料の多重化例】 ・LPガス、都市ガス、石油系など多様な燃料を使用する炊出用調理器具、空調設備、給湯入浴用施設の設置／・停電対応型空調機器の設置／・ガスコージェネレーションの設置／・太陽光発電や蓄電池／・ソーラー付LED街灯</p>	<p>○【取組の方向】について</p> <p>上尾市地域防災計画において、「避難所については、避難所としての機能の充実を図るために、給水施設、照明施設、資機材等の整備を進める。また、避難の長期化に応じた避難所環境の整備に努めるとともに、電源や燃料の多重化（非常用電源の配備、再生可能エネルギーの導入など）を含む停電対策に努める。」と記載していることから、表現を以下のとおり修正いたします。</p> <p>『大地震が発生した場合、発災1日後では11,613人が指定避難所に避難すると想定されており、安心・安全に避難生活を送れるよう指定避難所の環境整備や各種物資の備蓄の整備を計画的に行うほか、電源や燃料の多重化を含む停電対策に努めます。』</p> <p>○【主な事業・取組】について</p> <p>電源や燃料の多重化の設備の一つとして停電対応型GHPも含まれますが、主要な設備例として太陽光発電や蓄電池について明示しており、停電対応型GHPについては「等」に含めることとし、このままの記載とさせていただきます。</p>

No.	ページ	項目	ご意見要旨	市の考え方
4	P88	施策6-2 環境	<p>《地球温暖化対策等》</p> <p>① 地球温暖化対策、カーボンニュートラルに向けた取組を行っていくことは、喫緊の課題であり、2030年度までに2013 年度比で温室効果ガス排出量の46%削減を市の目標として定めています。また、市も一事業者として、2014 年度比で温室効果ガス排出量の51%削減を目標として定め、環境負荷軽減のための環境配慮活動に積極的に取り組むとともに、市民や事業者の主体的な活動を促していく必要があります。</p> <p>【提案】</p> <p>施策に賛同するとともに、表1段目「主な事業・取組」の文章に以下の追記（太字・下線）を提案します。</p> <p>追記（案）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●公共施設における環境配慮型設備の導入や太陽光等・・・</li> <li>●<u>クレジットを活用したエネルギーの導入</u></li> </ul> <p>【理由】</p> <p>2050年度カーボンニュートラルの実現および2030年度の温室効果ガス削減目標の厳しい数値を達成するには、環境配慮型設備の導入や太陽光などの新エネルギーの活用だけでは非常に厳しく、さらにカーボンニュートラル化されたエネルギーの導入拡大を進めることで、目標達成により近づけるものと考えます。</p>	<p>カーボンニュートラルの実現のためには、第一に、太陽光発電をはじめとした再生可能エネルギーを最大限導入するほか、高効率の省エネ設備を導入し、火力発電由来の電力の使用を極力抑制していくことが重要であると考えております。</p> <p>したがって、「クレジットを活用したエネルギーの導入」につきましては、本計画に明記はいたしません。創エネ、省エネ活動を最大限行っても、なお、温室効果ガス排出削減量が目標の達成に不足する場合には、クレジット制度などの活用も考えていきたいと考えております。</p>